

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 南庄教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2		
	2	職員の配置数は適切である	2	2	送迎を工夫し職員が多く出払わないよう対策している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	階段がある為、昇降時は職員が付き添い安全を確保している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	5			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	6			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	2	1		
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	1	1		
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	2	1		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	2	2		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している		1		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	5			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている		1		
保護者への説明 責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	4			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している		1		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	4			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	6			
	34	個人情報に十分注意している	5			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		3		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 室見教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	指導訓練室に必要なスペースは確保できている	室内での過ごし方を工夫し快適に過ごせるようにする
	2	職員の配置数は適切である	3	2	1教室7名、有資格者を配置している	送迎等人員が必要な場面で確保できるよう工夫を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	適宜改善点が無いか見直しを行い改善を行っている	玄関の段差等について、けがの無いよう職員付き添いの元で出入りを行っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	3	情報共有を行った上でふさわしい者が参画している	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		3		保護者様を介しサポートブックをいただく事が多い。今後も情報共有に努めていく
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				該当児童が居なかったが、今後そのような機会がある際には情報共有を行っていきたい
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		3		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		2		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3	面談等で、支援でうまくいっている点や、課題について共有し自宅での様子を踏まえ、方向性を合わせ療育を行えるよう支援方針を定めている	
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2		見学・契約時に説明を行っている	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3		感染症対策上、行っていないが今後の状況を鑑み判断を行う
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	34	個人情報に十分注意している	6			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		4		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1		
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 野方教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		学習する生徒さんと遊ぶ生徒さんが分かれるよう環境整備を行っている	
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			適宜改善点が無いか見直しを行い改善を行っている
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		ミーティング等で職員間で共有を行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2			保護者様を介しサポートブックをいただく事が多い。今後も情報共有に努めていく
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1			該当児童が居なかったが、今後そのような機会がある際には情報共有を行っていきたい
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2			
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している				
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	面談等で、支援でうまくいっている点や、課題について共有し自宅での様子を踏まえ、方向性を合わせ療育を行えるよう支援方針を定めている	
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		見学・契約時に説明を行っている	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		感染症対策上、行っていないが今後の状況を鑑み判断を行う
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			
	34	個人情報に十分注意している	7			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 有田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		用途ごとに部屋を使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	6			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2	転倒等でのけが防止の為クッションマットを使用している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		ミーティングを実施し、業務改善に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		リタリコ研修の実施	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		生徒さんの特性、課題を職員で分析し、計画書の作成を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		日々のミーティングを大事にしている。(情報共有・意見交換・振り返り)	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			支援終了後、時間が確保できないことがあるため、翌日朝礼にて共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	7			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	3			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	3			
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	3			
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る		2		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している	1	2		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	8		日々のご様子を保護者様に報 告を行っている。	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	3	1		
保護者への説明 責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	6			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	1	1		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	6			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	7		毎月お便りを作成し、イベン トやイベント報告等共有して いる	
	34	個人情報に十分注意している	8		鍵付き倉庫への保管	
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	2		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		作成を行い、ミーティングと回覧を行って、再発防止努めている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 下山門教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	4	スペースが少なくなることがあるので、配置を工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	3	3	送迎にて職員が少なくなることがあるが、他教室とも連携しながら対応している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4		手すりやスロープ等が必要な箇所の見直しを行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		定期的に研修を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		ミーティングにて支援方針や業務の分担を共有・決定している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	ミーティングにて支援の振り返りを共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		その日に行ったカリキュラムや支援した内容を明確に記入し振り返りやすく工夫している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	年に1回学校挨拶に行き生徒さんのお迎え方法や利用生徒さんの共有を行っている。	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		機会を作りながら情報共有と相互理解を行っている
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2		
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5	
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		3	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		お送りの際にその日に起こった出来事を共有している。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		2	
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		面談や送迎の際にて相談等を対応している。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3	
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		ご意見をいただいた際には速やかに共有・再発防止を行っている。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		
	34	個人情報に十分注意している	6		提供記録や写真撮影の際に、別の生徒さんが映っていない等確認を徹底している。また個人情報の持ち出しを禁止し外部に漏れる事が無いよう徹底している。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		定期的に地震・火災避難訓練を行っている。	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		都度ミーティングにて共有をしている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 花畑教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		用途に分け2階の訓練室も活用し、適切に支援できるよう配置している	
	2	職員の配置数は適切である	6			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4	手すりやフロアマット等の設置。階段を昇降する際は職員が必ず付き添っている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		ミーティング内で行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	ミーティングを行い、情報共有を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふざわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3			
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	検査報告書等にて情報共有を いただいている	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	4		積極的に参加したい
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		送迎時に保護者様へその日の 状況をお伝えしている	
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	教室内で共有の上、お伝え している。		
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		ブログやお便り等で発信をして いる	
	34	個人情報に十分注意している	8			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	定期的に訓練を行っている	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	ミーティング内で共有されている	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 原北教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		
	2	職員の配置数は適切である	5	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		活動により個別の対応が出来るよう予め調整することで生徒が無理なく活動できるよう配慮している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2			
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2			
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1			
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		直接お伝えすることや、お電話・記録を通して本人の状況をリアルタイムで伝える事で保護者様の信頼を得られるよう努めている	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	面談時に保護者から出た困りごとに関して、有効な対応を提案している	
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	34	個人情報に十分注意している	7			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年3回の避難訓練を行い、事前より教室内に掲示することで意識づけを行っている	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 荒江教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	2	5		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	6	ジョイントマット等を活用し段差がなくなるようにしている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		ミーティング内で行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		1人1人の生徒さんに併せてプログラムを作っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	7			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	1	6	必要に応じて保護者様よりサ ポートブック等、情報共有い ただいている	直接情報共有を行う中でも相 互理解に努めていきたい
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	2	5	情報共有を行っている	
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	2	5		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る		7		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している		7		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	7			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	6	1		
保護者への説明 責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	7		日々の送迎時や面談時に必要 な助言やサポートを行っている	
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	1	6		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	7		毎月エフ便りの発行をしてい る	
	34	個人情報に十分注意している	7			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に関わられた事業運営を図っている	1	6		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年3回 避難訓練を行っている	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			



放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 今宿教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	段差はあるがクッションマット等で滑ったり怪我がないように対処している	適宜改善点が無いか見直しを行い改善を行っていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		教室ごとの研修や事例検討を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		ミーティングを行い、生徒さんについて日々話し合いを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終礼で共有を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		毎日記録を取り、モニタリングや計画を立てる際にも活用している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			保護者様を介しサポートブックをいただく事が多い。今後も情報共有に努めていく
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1		該当児童が居なかったが、今後そのような機会がある際には情報共有を行っていきたい
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	5		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	面談等で、支援でうまくいっている点や、課題について共有し自宅での様子を踏まえ、方向性を合わせ療育を行えるよう支援方針を定めている	
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		見学・契約時に説明を行っている	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		感染症対策上、行っていないが今後の状況を鑑み判断を行う
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	毎月のおたよりを発行している	
	34	個人情報に十分注意している	7			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		定期的な避難訓練を行っている	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 今宿東教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	8			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	6		段差がある為、安全が確保できるよう対策を行う
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		ミーティングの際に、個々のレベルに合わせたものを出せているかを職員全員で確認したのち、何を聞きたいのか等について話し合っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		翌朝にミーティングを行い、支援内容の振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2			
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		3		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		送迎時に保護者様へ支援内容の報告や気になることの報告を行っている。	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2		
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			
	34	個人情報に十分注意している	8			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		火事・地震・土砂災害を想定し、定期的に訓練を行っている。	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		自教室のヒヤリハットに加え各教室のヒヤリハットが上がった際は、ミーティングで共有を行っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 次郎丸教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		フロアごとに職員が配置できるよう連携を取りながら支援を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		フロアマットや、危険個所の養生、プラ段の設置を行っている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		職員面談やミーティングを通して業務の振り返り・改善を図っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		定期的に社内研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		保護者との面談やアセスメント、相談支援事業所の計画等と照らしあわせながらニーズにあった計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		ミーティングで活動内容を決め、担当を決めて立案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		午前中のミーティングで当日来られる生徒さんの確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終礼・朝礼の際に生徒の支援結果の振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		保護者との面談や職員との情報共有を通してモニタリングを行い、随時見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふざわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		行事の際などに普段と違う時刻になっている場合には事前に連絡を取り合って対応をしている。	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1		
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		1		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎の際にお伝えが出来るようにホワイトボード等を使って職員間での共有も行っている。	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1			
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		レポートラインを決め、適宜対応を行っている。	
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		エフだよりを発行し、活動や連絡体制の周知を行っている。	
	34	個人情報に十分注意している	6		教室外への持ち出し厳禁、不要な書類のシュレッターを徹底している。	
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	年間行事として企画し、教室の周辺の状況に応じた訓練を行っている。	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	随時ミーティングで前日までのヒヤリハットの共有を行っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 西新教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		遊ぶ部屋、学習室と目的に合わせて部屋を分けている。2階も活用しスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	7		人員配置基準に則り基準以上の配置をしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		段差や階段がある為、職員付き添いのもと安全を確保している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		HP上にて公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		日程を決めて実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		生徒さんが楽しめることを第一に様々な活動を計画している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝ミーティングを行い、連絡事項や、注意事項等を全職員で確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終礼を行い一日の振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		必ず児童発達管理責任者が出席している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		年間計画等は生徒さんが持ち帰る予定表を確認している。学校でのトラブル等は、お迎え時やお電話等で情報の共有を行っている。	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		6		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		放課後の短い時間では難しい側面もあるが、長期休みなどで活動が出来ないか模索している。
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		6		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時に様子のお伝えや困りごとなどがあれば共有して頂いている。	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5		教室内での促しの成功例などをお伝えしている。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		窓口になる担当者を周知している。担当者を中心に解決を行っている。	
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		月に1度おたよりの配布を行っている。	
	34	個人情報に十分注意している	7			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		いつでも閲覧ができるように 玄関に置いている。	
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		地震、火災、津波等にそなえ それぞれに対応した訓練を行い、福岡市の防災センターへも出向き防災の意識が高められるようにしている。	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		医者からの指示を保護者様からの聞き取りを行い対応を決定している。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		同じヒヤリハットが起こらないよう対策等についても全員で共有している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 石丸教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	8			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	7		手すりが必要な箇所の見直しを行う
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		日々のミーティングを大事にしている。(情報共有・意見交換・振り返り)	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		支援終了後、時間が確保できないことがあるため、翌日朝礼にて共有している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	8			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	6			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	4	1		
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	4	1		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	1	5		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している	1	1		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	8			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	6			
保護者への 説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等に ついて丁寧な説明を行っている	7			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	8			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	2	2		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	7	1	毎月お便りを作成し、イベン トやイベント報告等共有して いる	
	34	個人情報に十分注意している	8			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	2	3		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1		
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		地震・水害・火災などの避難訓練を行っている。また防災センターでの活動も行っている	現在行っている訓練に加え、職員のみでの訓練・見直しを行う
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 長住教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		学習室、プレイルームと部屋を分ける事ができ、生徒さんの気持ちの切り替えができています。	
	2	職員の配置数は適切である	4	2	生徒さん同士で遊びに参加できるように声掛けを行うことにより職員の配置数を補うことができる為、取組みを行って行く。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	毎日の振り返りを行い、生徒さんに負担がないよう改善をおこなっている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	2	支援について教室間で意見交換や虐待防止研修など随時行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		当日の支援の流れを職員間で共有し、怪我やトラブルに繋がらないよう徹底を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1			



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1		
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		3		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		保護者様が安心して通所できるよう生徒さんに対するの対応方法の確認を行っている。	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1			
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	34	個人情報に十分注意している	8			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		工程表を作成し、災害発生した際の対策を徹底している。	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		全体の教室間で共有を行っている。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 2月 5日

事業所名 療育支援工房鳥飼教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3	スペースが狭い場所に関しては机の配置等を工夫している	スペースを最大限活用し、安全かつ快適に過ごせる環境づくりを行う。
	2	職員の配置数は適切である	6	1	人員基準に基づいた人員を配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		安全配慮が必要な場面に応じて設備を整える
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		定期的なエアミーティングの実施	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	1	毎年アンケート調査を実施し、保護者様へご協力いただいている。いただいた内容を基に業務改善に努めている。	今後とも意向を把握し業務改善に努める
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		契約時に使用しているアセスメントツールやその他のアセスメントツールを使用し、支援に役立てる
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		制作活動やクッキング、外出等余暇活動も様々なイベントを企画している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	長期休暇中など多く時間を割く事が難しい場合も短い時間にて重要な事を優先的に共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	支援終了後は退勤時間が近いいため簡単な共有のみ行い翌朝詳しく共有している	今後短い時間でも正確な情報共有が出来るよう努める
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	1	1			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2		就学前に利用していた施設からサポートブックなどをいただき共有している	
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1			
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1			
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3	保護者様との面談の中で、エフでうまくいった支援方法や声掛け方法等を共有している。	
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に具体的に説明を行っている	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2		ご意向に応じて開催するか検討する
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	34	個人情報に十分注意している	7			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	身体拘束を行う必要のある生徒さんが利用されていない。	今後やむを得ず身体拘束を行う場合、保護者様へ具体的に説明し、了解を得た上で計画に記載し、やむを得ない状況か判断しながら身体拘束を行う。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		エフ全体で起こった事例も各教室で共有している	

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 田島教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	8		送迎を工夫し職員が多く出払わないよう対策している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		階段がある為、昇降時は職員が付き添い安全を確保している	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2			
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		1		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2			
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	34	個人情報に十分注意している	9			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			



## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 福重教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	学習する生徒さんと遊ぶ生徒さんが分かれるよう環境整備を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	3	4	有資格者を人員基準に基づき配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1		適宜改善点が無いか見直しを行い改善を行っていく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		ミーティングを行い、生徒さんについて日々話し合いを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		研修資料を用いながら行っている。またその振り返りも行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		ミーティング内で行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		ミーティング内で行っている。個々に合わせた課題を抽出し選択している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝ミーティングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終礼ミーティングを行っている。	終礼時にミーティングの時間が取れないときは翌朝のミーティングで行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		半年に1回の面談や適宜保護者様のご希望にて取り組んでいる。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		送迎時や必要に応じて会議を行っている。	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3			
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3			
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		送迎時の申し伝えではその日の様子や療育内容を出来るだけ細かく伝えるよう努めている。	
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4			
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月エフ便りの発行をしている	
	34	個人情報に十分注意している	7		個人情報は鍵付き書庫にて保管している。	
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			
	38 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		火災、地震、洪水高潮訓練を定期的に行っている。	実際に避難場所までの避難訓練を行えると良い。
	39 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	41 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	42 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		他教室分も含め全体で共有している	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 姪浜教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	8			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	手すり等の設置	段差や階段がある為、職員の付き添いのもと支援している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		動画研修や社内研修を行っている	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		日々のミーティングの中で個々に合わせたカリキュラム作りを行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		毎朝ミーティング時に確認を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8		送迎時や必要に応じて会議を行っている	
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2		
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1		
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1		
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		4		
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
保護者への説明責任等	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	1	半年に1回の面談や適宜保護者様のご希望にて取り組んでいる	
	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1		
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		面談や日々のやりとりの中で行っている	
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	34	個人情報に十分注意している	8			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		他教室分も含め全体で共有している	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年 3月 5日

事業所名 療育支援エフ 友丘教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			
	2	職員の配置数は適切である	8			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2	段差があるが、職員が付き添い、補助を行い安全確保に努めている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		定期的な研修を実施している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		毎月季節感にあったイベントを立案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		日々ミーティングを実施している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	7			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	4			
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	2			
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	5			
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ る	1	5		
	26	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参 加している	1	2		機会があれば参加したいと考 えている
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	7			
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング 等の支援を行っている	7			
保護者への説明 責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7			
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を 行っている	8			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	2	3		
	32	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応している	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	7		毎月おたよりを発行している	
	34	個人情報に十分注意している	8			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の 疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	1		



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待防止研修・マニュアル共有にて意識づけを行っている	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			